君が御退屈なさるとゝけませぬから今晩は是位で置きまして、後日復た私の氣付いた所を御注意申上げることゝ致しませう。……

▲いろ〳〵の人　世界は廣し。人種は多し世の中には隨分奇妙な事がある。オウスタリアの或所では色の成るべく黑い方が美人としてあるので。炭團に目鼻のお黑さんが大に持囃されるさうだ。これに就て面白い話がある。先年英國人が其土地へ行つた處が土人の女共は其顏の白いのを見てお化けが來たといつて逃げ出した▲また南洋の或島では鼻の低い程好いとしてある。子供が生れると直ぐに親が其の鼻を押つぶして低くするのださうだ土人が西洋人を見て。可哀想にあの人は小さい中にお母さんの育て方が惡かつたからアンなに鼻が高いのだと云つて大さう氣の毒がつたといふ事である。ドチラか可哀想だか知れたものか△モウ一つはお臀の大きいのを好む亞弗利加の南の方のホッテントットといふ人種だ。ここでは子供の頃から成るべくお臀を大きくするやうに氣をつける。だから大人になるとお臀が後ろへ棚の樣に突き出して子供が其の上に乘つて遊ぶ程ださうだ

近視眼の衛生

新免義男

近視眼は俗に近眼て眼鏡の力に依らなければよく遠方を明亮に視ることの出來ぬをは誰も承知のをですか、今より十數年前よりだん〳〵近視眼者の數が增加いたしまして眼醫者と近視者は種々其療法や豫防に心配して居ますが世間の一般の學生等は近視者は勉强家の證徵で名譽のよふに考へ上流社會殊に學者先生達の近視家が燦爛たる金緣眼鏡を用ゆるをの漸く多くなるにつれ一種の流行を來し男女の學生は勿論其他の健眼者迄が裝飾として金緣眼鏡をかけ得心がり、高襟連の異名中に數へ込まれて居る狀態でしかも眞面目に近視眼の衛生豫防法を實行するのかと思へば左樣で無く「トラホーム」は世間眞面目に其療法や豫防法を研究して隨分心配いたして居るに近視眼の方は却々反對で近視者の眞似を健眼者がいたしますは畢竟

其苦痛の少きと眼鏡其物が一の裝飾となるところから斯る奇態を呈しましたのでありましょふが、兎に角近視眼者の身となりて見ますれは金縁眼鏡で得意がる譯には參りませぬ大に近視の衛生に就て研究し其豫防法をいたさねばなりませぬそれは近視眼は如何なものであるかをこれから御話いたし其衛生と豫防法を記載いたします、

近視眼は近視の強弱によりまして區別して輕度のものと中度のものと強度のものと三段に分けます尤も其區別の仕方は眼醫が檢眼鏡を以て其度を調べて分つのでありますまた近視眼の性質にも種類がありまして近視の度か何時も同樣で進まず停止いたしたるのと時々近視の度か高まり益物を接近せねば視えがたくなり進み行くものと常に間斷なく近視の度か進行いたしまして止まぬものとあります、すべて近視の度が進みます時には光線に對してはまぶしく涙は流出で頭痛を來し眼筋の疼み等を發し眼の疲勞を感じます一層高度に近視度が進むときには眼球に變化が參りまして視力が損害せられ色々合作症を來して大に危險なるをがありますからして近視眼も不注意には決して置かれませぬ尋常近眼者の自覺の容躰を述て見ますれば遠方を視れば不明で別ちがつかず學校にては黑板の文字を詳かに讀むをかたく人に道に逢ふては禮を行はず家を訪ふて其記號標札を辨するをが六ケ敷月を望めは朗月に見へ敵に遭ふて味方と誤る如き不自由を來し不都合を生じます遠き處を望む際に常に瞼裂を細くして視る僻ありて一見近眼者であるをは誰れにても看破せられます弱度の近視者は自身には近視あるをを知らずに居ますこれは遠方を見るに無論不明であるけれ雖他人も自身同樣に不明であると思ひ居るからでありますまた近視者の中には遠方の物体か明でないのみならず重複して見ゆるものがあります弓張月の兩端が幾つにも岐れて見ゆる如きです其他眼前に蚊の飛び廻はる樣なものを見るをもあります然し近眼者は近接す

るものは明細に見ゆるもので細字等を書するには得意であります強度の近視者が近業を不注意に營む時には意外のことが生じますまぶしく涙の流出たり視野の中に暗黑の點が生したり眼中電光の閃らめく如き感じ物体の變化して視ゆるなどは常のことであるが眼は疾勞して業務を續くることは出來ず外斜視となり又恐るべきは卒然に網膜か剝離して失明するに至ることがあります近視眼は如斯不幸の病症を來すともあれば單に遠望の不自由位には止まりませぬから眞面目に眼の衛生方法を研究しまして既に近視に罹り居る人の爲めには其近視の進行するを防ぎ健眼者は之れが豫防を致したいものであります而して衛生方法を知るには近視の原因を知らねばならぬ其原因は遺傳に基きて一家の族人が之れに罹るものは極めて罕でありまして通常眼の不衛生から來るのが多數であります初生兒は遠視で生れまして年齡が長するに從ひ正視眼となり學校に入りて漸と近視となるものが余程多數で有ります實に文明の基礎である學校教育が近視を來す大原因であるといふことが大學者の說であります下等社會野蠻人中には近視眼は少なく小兒に近視の少なきと同樣なる理由で近視の數が小學より中學に多く中學より大學に益增加して居る磅學コン氏の檢査に依ると小學校は百に付十四で中學は十六で大學は六十の割合で教育の隆盛なると共に近視はだん〳〵增加する勢を示すそふです誠に遺憾千萬なことで教育の未だ完全ならざる證據だと思ひます我國も古より近視眼のあるは疑なきことろで只今より少數で有たのでしよふ是の增加せる原因は一つの今日の如く繁多なる教育と一つは文字の形が古よりは小形になりたるは近視の增加する一原因でありましよふ願くは教育の局に當るものは字形の改大と繁多の改良とに盡力せられんことを希望いたします、

近視の發生するのは十三四歳より二十二三歳に至る春季發動期に最も盛でありまして婦人は男子よ

りも近視に陷り易く其強度も高度のものが多く男女共に同一の課程を授くるも近視は女子に多くて且つ強度だといふをです其理は恐らくは婦人は体質が男子よりも弱き爲であるとの說であります我國男女學生に就て此比較を檢査したるをのは知りませぬが他日比較調査を遂げた上は諸君に告白いたします金銀職工、活字拾彫刻者等の接近して業を營む職業者には近視眼が多くあります我國の印板職工は古より凸鏡を用ゆるもの多きは甚嘉すべき近視豫防法で誠に敬服に堪へません近視の療法は活するをは專門醫も難しとするところにて近視は全治するをは出來ませぬ只其近視の進行を防ぎ強度にならざる方法と眼の衛生を十分に施し近視を豫防するをは出來ます近視の進行を防ぐ方法とは適當の眼鏡を用ゆるのでありますそれで近眼者は眼科專門醫に就きて眼鏡の精選を乞ひ其指示した鏡を鏡舗で購求するのですが妄りに鏡舗で自ら勝手に撰擇するをは不可ません、

眼鏡を適用する大略を少し申述べます弱度の近視には遠方を視る時に矯正の眼鏡を用ゆるのでありますが近接の場合讀書時等の場合には必要がありませぬ中等度の近視には遠近兩用の眼鏡が入用です併し近用の眼鏡は適當の矯正眼鏡よりも少し弱度の眼鏡を用ゆるを良といたします強度の近眼には遠用近用の兩鏡は共に必要ですが矢張成可弱度の眼鏡を用ゐなければ久しく用ゆるに堪へませぬ強き近視眼で視力の衰へて居るものは眼鏡を用ゆるも遠見には其効がなく近業にははげしく眼の調節機を使役する嫌があります寧ろ鏡を用ゐない方が良しくあります只近用には止むを得ませぬから制限して用ゆるをです近視の進行中なる人は殊に夜間勉學執務するに當り眼邊に疼痛を發し眼が疲勞し易きをがあります如斯時は速に一時業務を廢して醫の療法を受けねばなりませぬ健眼者も近業を以て常に從事する人は彼の彫刻職工の如く凸鏡を用ゐて執業し近視を防くへきです、

博士コン氏の近視の衛生的豫防法を左に掲げますから教育に從事せらるゝ先生學生諸君はとうぞ御熟考の上左法を實行して教育の不完全を補ひ已人に於ては近視の症に罹らぬをを希望いたします、

一光線は十分ならざるべからず暗黑なる校舍は一切改良せざるべからず燈光は電氣燈を最良とす是電燈は光强く空氣を不良にせず且熱を生するを少ければ他の燈火に秀逸す、

二體勢は正からさるべからず頭を垂れ脊柱を跼むれは眼と物と相接近し頭部逆上し眼は充血し易し依て机は體に應し一定の高差なかるべからす

三細字の書籍は皆不可なり教科書の活字は五號より下るべからず可成字形の大なるをの可なり用紙は白色又は稍黃色なるを良とす紙面の破れ易く荒れ易きものは不可なり又光澤ある紙はすべて不良なり、

四教課と休息とは一定の分配を要す毎一時間に十五分の休息を必要とす眼の調節機能の疲勞を安

ずるに足るのみならず身体上に有益なり、

五學校教育と家庭教育との衛生的監察は同一の註意を要す彼を嚴にし是を寛にするが如きあれば決して効果を擧ぐるをなかるべし、以上

▲口に就て　口には二つの作用がある、飲食のためと言葉のためである、前者のための口は動物的であるから美感がない、寧ろ醜を感ぜさせる後者のための叢は、內部精神を表現するので大に美感がある、此二つの作用を假りに醜的作用美的作用と名けよう、ソコで口を大中小と分ける、中は程好いのであるから兎や角云ふことはない、口の大きいのは動物性の作用を大きく感じさせる、口が大きいと大食多言でもしさうに感ずる、此種の口は或種の英雄豪傑には適するが美人には適しない、口の小さいのは美の妨害をする動物醜的作用が弱く感じられる上に言著の表出作用も强く感じないが、目の小さい場合と同じく其內容を想像して美的快感を深く感じさせる、日本の美人諺の小さいのは餘程面白いことである口だけ離して見れば口とは受取れない程小さく形ちも自然の口の形とは違つてをる、これは畫家が美人の畫を書くのに口の動物的作用を避けたのである、また言葉の表出機關としての必要をも感じなかつたのだ、精神內容に對する想像を惹き起させるのを主としたので、成るべく小さい口の必要を感じた小さい口は頰の美を附け加へる利益もある